

# 舵輪

## 海杯ポラントニア大会

去る11月3日（祝）、総帆展帆日の昼休みに第3回ネプチューンヤード（海王丸運動会）が開催されました。当日は天候に恵まれ、短い時間ではありましたが多数のポラントニアの方々に参加していただき、たいへん盛り上がりしました。

成績は次のとおりです。

輪投げ	一位	ミズンマスト
椰子の実運び	一位	フォアマスト
綱引き	一位	フォアマスト
総合	優勝	フォアマスト
	二位	メインマスト
	三位	ミズンマスト

今回も雪辱を果たせなかったミズンマストチーム。来年こそは頑張りましょう。なお、運動会の後、臨海野鳥園にて植樹を行いました。普段はなかなか近寄れませんでしたが、またいつの日か成長した木々に鳥たちが戯れる姿を目にすることができると思っています。ご協力ありがとうございました。

## ウエルツキの甲羅七

『アドミラル 東郷も（帆走）仲間』 404 辻田 豊

私共の初代海王丸の船内に教材用だったのせうか。昔、飾られたらしい。忘れた存在の「東郷平八郎」元帥の肖像画が残っている。・・・と小耳に挟んだことがあります。

その人物は、遠い過去、明治時代に国を救ったヒーロー。強大なロシア帝国の黒海遠征艦隊を日本海で迎え討ち大勝する。つまり、日本艦隊の「時の人」。その概略のあまり知られていない部分の素顔を記録文書からピックアップしますと、少年期の幕末、今の鹿児島（薩摩藩）が英国艦隊と戦った時のこと。従来の「丸玉」と異なつた形のアームストロング砲の尖頭弾の威力に驚き、将来進んだ海軍国のイギリスへの留学を決意する。

その後「菊花」旗のはためく官軍の船に乗って、「日の丸」旗を掲げた幕府側の榎本艦隊との内戦に参加。

明治維新後は、政府の指令で念願の渡英。そのイギリス予備海軍系のウースター号（商船学校）に学ぶ。卒業の遠洋航海は八ノ浦シヤール号。アフリカの喜望峰を廻つてオーストラリア。次は南アメリカのホーン岬を通つて本国（イギリス）へ戻る。その間ずっとアッパーヤードの張り切りマン。しかし、在英中腹ペこに悩んだ末の工夫もまた有名。

日本帰国後は、直ちに海軍中尉の資格（二尉または二等航海士に相当）。面白なのはのちの海軍大臣（今の防衛庁総督）

になつた山本権兵衛少尉（三尉または三等航海士）にやつかみの加わつた形で、部下達の前でマストの早登り競争を挑まれる。結果は負け・・・だが、いざという時は東郷に期待。のちに連合艦隊のトップ（司令長官）に起用される。そして、国難をはね飛ばすほどの格段の戦果にも関わらず、決して当人は誇らず、重傷の捕虜の敵将（ロジェスト・ウエンスキー）を見舞い、「あくまで勝負は時の運。貴官は充分祖国に尽くされました。」と励ましたこと、ことさら花も実もある爽やかな人物として崇められ、ある国では肖像をラベルにした東郷のビールさえ売られたほどの、もはや世界のアドミラルとなつた。

後日、懐かしのウースター号を訪れた際には、自ら「寡黙の提督」の殻を破り、随行の副官の注意も無視。締め括りは「ウースター」の栄光、永遠なれ。」で結ぶ、同期や後輩、恩師（スミス大佐）の未亡人を前に、感激の雄弁を一席振つたというエピソードさえ残されており。

## お知らせ

『海王丸ポラントニア スキーツアーの打ち合わせ』  
参加者の皆様方と一度打ち合わせを開きたいと思ひます。何かとご多忙のことと存じますが、万障繰り合わせのうえ、ご出席下さいませようお願いします。

両面の商船海員教育の盛んな時期。予備役海軍の将兵を創るといふ軍事的な国策も併せたサポートで随分活気がありました。しかし、現代は永い平和。新しい形で先を読んだ「真の日本国」を支える海軍の発展を、そして、「海の民なら男なら」といつた感慨の再来を、老人（ロートル）は静かに念じ、眺めている。今。どうぞ若い人達。先人以上に二十一世紀を素晴らしい日本にして下さるよう。（ちなみに）

昔、当海王丸は、旧海軍の長期大演習には、雑役補助艦として、たびたび給水業務に参加したこともあつたとのこと。（平成8年シアトル遠航中、指導員 今井吉次氏の懐古談より。）

日時 平成9年12月23日（祝）  
12時から  
場所 海王丸パーク内日本海交流センター第3研修室  
（当日、参加費26300円を合わせて徴収します。）

なお、スキーツアー参加に多少の余裕があります。ご希望の方はお早めに。

申込締切 12月23日（祝）  
申込先 坂橋 誠  
電話 0766  
水野 洋子  
電話 0764  
山谷 実  
電話 0766  
(82) 3913

# 舵輪

## 「シャツ」からのお知らせ

海王丸のドック工事見学会について

日頃見ることのできないドライアップした海王丸の姿やドック施設の見学会を左記のとおり実施します。

(日時) 12月14日 15時～15時50分

場所 新日本海重工業(株)ドック (富山市西宮町1の1)

見学方法 係員が案内し、ドック施設および工事の概要等について説明します。

申込方法 ドックとの関係上、確実な出欠を同封の官製はがきに明記して下さい。

申込期限 11月30日(日) 午後5時

ポランテアの集いについて

平成9年度帆船海王丸ポランテアの集いを左記のとおり開催いたします。お忙しいとは思いますが、多数のご参加をお待ちしています。なお、精勤賞の表彰式をあわせて行う予定にしております。

### 記

日時(土) 12月6日 18時30分～20時30分  
場所 富山県職員会館203号室 (富山市新桜町1の2)  
0764(41)4004

海王丸の整備作業について

毎年、冬季にはセイル作製等の作業をポランテア皆様の協力により実施しておりますが、今年度も同様によりよくお願いいたします。期間は12月1日から2月28日までです。ドック内で工事中ということもあり、ご協力いただけるポランテアの方は、事前に市川までご連絡下さい。よろしくお願いたします。

餅つき大会について

従来、ポランテア皆様の協力により実施していた餅つき大会ですが、今年度は海王丸が不在ということもあり、日程を変更して、3月21日(祝)に行います。なお、この日は海王丸が検査工事等を終え、公開を再開する日にあたります。新たなスタートに花を添えていただきませう。多数のポランテアの皆様のご協力をお願いします。

Tシャツのデザイン募集について

前号でもご案内いたしました、ポランテアのTシャツのデザインを募集しております。我こそは!と思われる方は市川までお寄せ下さい。締切は11月末日とします。お忙しいとは思いますが、よろしくお願いたします。

## 「シャツ」の豆知識

「船底」

11月7日(金)帆船海王丸は、定期検査及び特別改修工事のため、富山市の新日本海重工業(株)にドック入りしました。回航当日は、小春日和となり風も弱く、タグボート3隻に曳航されて約4時間の回航作業となりました。現在の状況は、ドック内の水も排水し、船底の汚れや錆を落とす作業が進められています。さて、今回はドック工事見学会も予定していることから、船底のお話しをしましょう。船底には、海水を吸い込んだり、排出したりする穴や、速力を測る航海計器のセンサーなど色々なものが、取り付けられています。どのようなものがあるかと言つと、

バーキール

キールとは船首から船尾までつながっている船の背骨に相当するものです。一般船のキールは平板を使っていますが、帆船には横流れを少なくするために高さ20cmほどの直方体のキールが付けられています。

ビルジキール  
船橋付近下からリーサイド室付近下ま

で付けられている魚の胸びれのような板です。ビルジキールは船底両脇にあり、船の横揺れを軽減させる役目があります。シーチエスト

海水の取り込み口です。シーチエストは機関室の下にあり、機関を冷却したり、風呂の海水を取り込んだりするための穴です。

音響測深機

音響測深機とは、船底から音波を出して海の深さを測る航海計器です。音波を発信したり、受信したりするスピーカのようなものが、船橋下の船底に付けられています。

電磁ロケ

電磁ロケは、船底からセンサーを出して船の速力を測る航海計器です。作動させるときは、船底から1m程のセンサー付きの棒を出して測ります。音響測深機と同様船橋下にあります。

保護亜鉛板

船体は鉄でできています。一方、プロペラは銅で造られています。そのため、異種の金属が海水に入ると電気が流れ船体が腐食(電食)します。保護亜鉛板は船体を腐食させないために取り付けられているもので、海王丸には37枚あります。ポットムプラグ

船の底部には水タンクや油タンクがたくさん配置されています。これらタンクの底にある栓がポットムプラグです。入渠中、タンクの水を抜くときは船底からこのプラグを抜いて水を出します。

以上が、船底にある主なものです。12月14日の見学会を楽しみにして下さい。

## 展覧会

月日 天候 参加者 その他

10/26 曇時々雨 67名 ポートタック  
ク ガフトップスルを除く縦帆のみ展

帆

11/3 晴 83名 ポートタックス  
エアヤード 第3回ネプチュニヤード  
(海王丸運動会) および臨海野鳥園の  
植樹実施

## あしがき

ここ数日は天候も良く、アンペンディングセイルも順調に終わりました。平日にも関わらずご協力いただいたポランテアの皆様、本当にありがとうございました。ドックへの回航もわずか4時間あまりの航海でしたが、海王丸は生きています。船底というところが随所に感じられ、喜んでくれるのが伝わってきました。

1年間の総帆展覧の日程を、事故なく無事終了することができ、ほっとするとともに、皆様の多大なご協力に厚く御礼申し上げます。冬季は十分休養し、また来年度には全力で作業にあたれるようよろしくお願いたします。

まだかなり早すぎるかもしれませんが、良いお年を。

ITTY

# K A I W O M A R U